

とうべつ

手にとって good 身近に



WEB 版はこちら

議会だより



No. 218

令和6年8月1日発行

CONTENTS

5月臨時会・6月定例会

～特集～社会福祉法人への補助金を可決・・・・・・・・・・p. 2

6人の議員が町の考えを質す・・・・・・・・・・p. 5

- ・子どものウェルビーイング
- ・当別町の介護の「みらい」は
- ・デジタル推進で便利な暮らしを
- ・駐車場の管理と災害ボランティア
- ・29人学級をなぜ実施しないのか
- ・町内の外国人の状況と関連施策

認定こども園新園舎、西当別支所、当別EZOCA・・・・・・・・p. 11

町内所管事務調査、議員研修会、5月臨時会・6月定例会



阿蘇公園施設更新工事 完成イメージ(公園駐車場側)

～特集～ 社会福祉法人への補助金を可決

5月14日に開催された第1回臨時会で、養護老人ホーム長寿園の収支不足を支援するための一般会計補正予算案が提出され、審議が行われました。養護老人ホーム長寿園は、かつて町が運営していましたが、当時の経営状況などから運営移譲（民営化）が行われ、社会福祉法人当別長生会がその運営を引き継いできました。

この補正予算案に対しては、議員4名から修正案が提出され、町長が提出した原案とあわせて討論・採決が行われました。

可決された原案（補正予算案）の概要

歳入	財政調整基金繰入金 増 9,700 万円
歳出	養護老人ホーム長寿園運営費補助金 増 9,700 万円

支援の目的

養護老人ホームの運営を町から移譲（民営化）され引き継いできた経過、令和8年度までに事業転換を行う方針が法人から示されたことを踏まえ、一定の条件の下で支援を行い、現在、施設（養護・特養）で暮らしている高齢者の生活確保と経営の基盤強化を速やかに図る必要があるため。

養護老人ホーム長寿園の概要

○これまでの経緯

- ・平成16年度まで 町が直営
- ・平成17～21年度 長生会に管理業務委託
- ・平成22年4月 民営化
- ・平成26年4月 新養護老人ホーム建物移行

○定員 40 名（平成25年度まで50名）

これまでの町からの支援

- 運営費補助 300万円／年
平成26年度～令和15年度（新養護老人ホーム建築の際に生じる借入金の利息相当分を補助）
- 町有財産の無償譲渡
土地（旧建物含む）、備品、公用車など

民営化後の養護老人ホームの収支不足の状況

平成22年度～令和5年度（14年間）

▲1億800万円

補正予算の積算根拠

項 目	金 額
平成22～令和5年度の 収支不足の5割	1億800万円×1/2 = 5,400万円
令和6～8年度の 収支不足の5割	7,380 万円×1/2 = 3,690万円 ≒ 3,700万円
令和7～8年度の 運営費補助の前倒し	300万円×2年 = 600万円

否決された修正案の概要（参考）

歳入	財政調整基金繰入金 増 0円 9,700 万円
歳出	養護老人ホーム長寿園運営費補助金 増 0円 9,700 万円

補助金の増額分 9,700 万円について、
「0円」とするもの。

発議者

佐藤議員・櫻井議員・芳形議員・角田議員

修正案の提案理由

- ①これまでの質疑を通して、本補助金増額分が客観的に公益上必要であると確認することができなかったこと。
- ②本補助金増額分の対象経費の算定にあたり、令和6年度に支出されない経費を含めていることは、当別町社会福祉法人の助成に関する条例及び予算会計年度独立の原則に照らして適切ではないこと。
- ③現在、当該施設の入所高齢者と就業者の生活確保のため計上されている本補助金増額分は、その内容、金額を精査し、再提出することやその他の取り得る手段も存在すること。





過去と今後の経費が対象

問 令和6年度の補助金であるのに、過去の経費と今後生じる経費が対象経費となっている。これは当別町社会福祉法人の助成に関する条例の解釈上、また、公会計の原則上あり得るものなのか。

答 町から運営を移譲した経過等を踏まえ、町も一定の責任を認めるもの。過去から令和8年度までの収支不足を補助の算定根拠としているが、条例上問題はなく、必要かつ適当と判断した。



3年間で事業転換を

問 令和8年度までに事業転換を行うこと目的に、令和6年度から3年間で300万円を補助することのだが、事業転換が行われずに3年を超えてしまった場合、この補助は継続されるのか。

答 3年間で事業転換を行うと法人の理事会から示されたことに、町としても最大限配慮して今回の予算を積算している。この期間を超えた場合、新たな助成は考えていない。



まずは経営安定化が必要

問 今回の補助金をこの時期に提案した理由は。また、補助金以外にどのような検討をしてきたか。

答 緊急性が高い支援と判断したため、5月臨時会での提案となった。経営

が悪化した段階で支援を求めてきたことは遺憾だが、厳しい財政状況で努力を続けてきたこと等は評価している。補助以外は検討していない。まずは法人の経営安定化のため、財政支援が必要と判断した。



高齢者の生活を守るために

討論

令和6年度一般会計補正予算（第1号）に対する修正案

原案に賛成 海野議員



入居者を路頭に迷わせないために今は入居者の生活確保が一番求められている。一定の支援等を行うことは重要。補助は町の福祉向上につながるもの。

修正案に賛成 櫻井議員



一括ではなく金額や手段の検討をまずは最低限必要な金額を精査して、毎年拠出している補助への上乗せ等、他の手段を視野に入れて検討すべき。

原案に賛成 佐々木議員



町にも責任の一端がある入居者を守ることが大切。また、民営化の際、赤字の見通しだったことを考えると町にも責任がある。補助は適切。

修正案に賛成 芳形議員



慎重に審議する時間が必要経緯経過など状況の正確な把握や解明がされていない。町民が納得できるように慎重に審議する時間が必要。

原案に賛成 秋場議員



町からの移譲時点で無理があった経営移譲時点で無理があったことを考慮したもの。何より利用者や働く人を守るため絶対必要。数字も妥当である。

修正案に賛成 角田議員



しかるべき積算根拠を示すべき根拠となる資料や改善計画の提示がなく、判断に至るものがない。また、本来補助金は単年度拠出が望ましい。

【賛否が分かれた採決の公表】

角田	海野	芳形	櫻井	佐々木	佐藤	西村	五十嵐	山崎	秋場	山田	古谷	島田	高谷
修	原	修	修	原	修	原	原	原	原	原	原	—	—

※副議長は議事進行を行つたため賛否表明はしません。

※「原」は 原案 に賛成。「修」は 修正案 に賛成。「—」は退席。

補助金の増額分9,700万円を0円とする修正案は、賛成少数で否決されました。その後、原案の採決が行われ、賛成多数で原案が可決、成立しました。

「ページの読みやすさ」について、アンケートにご協力ください。



総務文教常任委員会(5/14、6/17・20)、産業厚生常任委員会(5/14、6/18・20)を開催しました。令和6年度補正予算や子どもの医療費助成に関する質疑などがありました。

子ども医療費助成 対象者拡大



子ども医療費助成の拡充

当別町子ども医療費の助成に関する条例の一部改正



新たに対象となった子が、受診時に対象と気付いた場合、後から手続きを行い、遡って助成を受けることは可能か。



道外で受診した場合と同じであるが、一度病院

の窓口で自己負担額を支払い、その領収書を持って町の窓口で手続きを行えば、その分の償還払いが可能である。受給者証を忘れるケースもあると思うが、後からでも手続きできるため、ご安心いただきたい。



当別町保健福祉センターゆとろ

コミュニティ助成事業



スウェーデンヒルズ



コミュニティ助成事業の内容

コミュニティ助成事業助成金 250万円



令和6年度は、スウェーデンヒルズ町内に助成事業を行うとのことだが、具体的な内容は。



除排雪対策強化のための除雪機購入や、コミュニティセンターに災害避難所の機能を持たせ、住民交流の場としても利用促進を図るため、必要な音響や映像に係る備品の購入を助成する。

阿蘇公園の更新工事



阿蘇公園の工期は

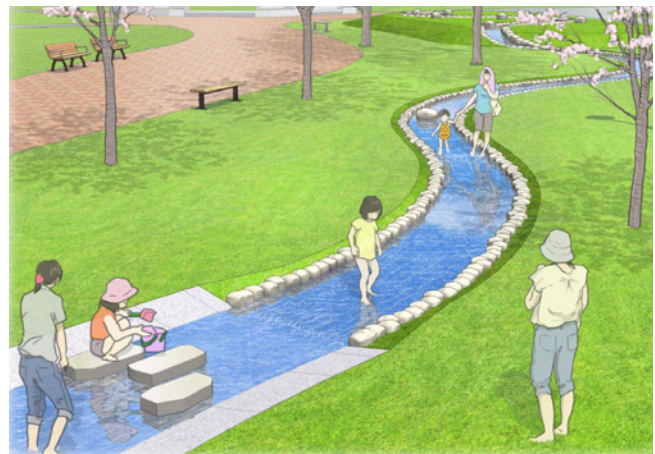
阿蘇公園施設更新工事請負契約について



阿蘇公園施設更新工事について、いつ頃から工事が始まって、いつ頃終了するのか。



6月定例会終了後に契約を締結し、その後に着手となる。令和6年12月20日までの工期を予定している。



阿蘇公園施設更新工事 完成イメージ



一般質問

さ さ き つね こ
佐々木 常子 議員質問の
ねらい

子どものウェルビーイング

子どものウェルビーイング（幸福感）※1を中心に置く考え方に基き、子どもにやさしいまちづくりを進めていくべきである。子どもの権利について、子ども自身と教職員をはじめとする全ての大人が学ぶこと

で、子ども同士のいじめ、教職員による子どもへの心無い言葉などの解決や、子どもの自己肯定感の向上につながると考える。当別町が「子どもを大切にする町」となり、それを伝え広げていくことが重要である。



動画はこちら



令和6年度 当別町子育てガイドブック



詳細はこちら

ここが
聞きたい

幸福感を高めるには

問

子どもの幸福感を高めるため、町ではどのようなことに取り組んでいるか。また、「子どもにやさしいまちづくり」を進める考えはあるか。

答

育児等の悩み相談、子育て世帯の経済的支援、教育環境整備等に取り組んでいる。現在、チャイルドファーストの視点からさまざまな事業を展開しており、今後も取り組みを進める考えである。

ここが
聞きたい

子どもの権利を守るために

問

子ども同士のいじめや教職員の心無い言葉等がニュースでも取り上げられているが、現状はどのように対応しているか。

答

積極的ないじめ認知や教育相談により、嫌な思

いをしている子どもの早期発見、未然防止に努めている。令和6年度からはWEBQU※2を導入し、子どもの状況をデータに基づき的確に把握し、教職員による日常的な観察と教育相談を進めている。



「よく分かる！子どもの権利条約ー児童の権利に関する条約ー」
企画：法務省人権擁護局／全国人権擁護委員連合会
制作：公益財団法人人権教育啓発推進センター

ここが
聞きたい

子どもの権利と教職員研修

問

教職員の言葉は子どもに大きな影響を与えるため、教職員が子どもの権利を学ぶことは大切である。教職員の学びについて、今のままで良いとは思えないが、今後の対策などはあるか。

答

いろいろな研修を進めているが、町教委と学校だけでなく、道教委の専門の方の指導も受けながら、教職員の意識改革と共に指導力の向上に注力していく。

ここが
聞きたい

専門的な性教育の実施は

問

令和5年12月定例会で、専門的に性教育を行う方を招いてはどうかと質問し、学校長と相談するとのことだったが、その後の進捗はどうか。

答

令和6年度、教職員の指導力向上を図るため、性的マイノリティーに関する外部講師を招いて、研修を実施する。

※1 ウェルビーイング

※1 Well-Being…人々が身体的・精神的に健康であり、社会や経済も良好で満たされている状態を示す概念。

※2 Q-U…学校・学級生活への不適応、不登校、いじめ被害の可能性の高い子どもを早期に発見できる心理テスト。ウェブ上で実施できるものがWEBQU。





動画はこちら

一般質問

かくた ひろすけ
角田 広佑 議員質問の
ねらい

駐車場の管理と災害ボランティア

公共駐車場において、長時間利用や目的外利用が散見されている。催事等で本来の利用者が駐車できず、機会損失を招いている状況にある。町の見解や方針を質した。災害ボランティアは、被災後の復旧・復興を

担う役割として重要。受け入れ体制の整備や受け入れの訓練を行う必要性について質した。町のSSW※¹（スクールソーシャルワーカー）が定着していない。職責に見合った待遇を提示する必要性について質した。

ここが
聞きたい

駐車場の目的外利用

問

町内公共施設の駐車場の一部で、施設利用ではない目的で駐車している車両が散見されている。このような駐車場の目的外利用に対して、町としてどのような見解を持っているか。

答

調査していないため、駐車状況から目的外と一概に判断はできないと認識。引き続き管理強化を図るが、個人のモラルによるものが大きいので、ルールやマナーを遵守して利用いただきたい。



JR当別駅前広場 駐車場

ここが
聞きたい

占有場所の長時間駐車

問

キッチンカーが占有許可を取得した駐車場に、数日間別の車が駐車されており、本来とは違う場所での営業を余儀なくされたという話もある。町として対策を講じる必要があるのでは。

答

町にそのような事案の報告等はないが、迷惑行為はあってはならないもの。個人のモラルによるものが大きいと認識している。利用者が快く利用できるよう、引き続き注意喚起に努めていく。

ここが
聞きたい

災害ボランティア連携体制

問

災害時のボランティア受け入れ等を行う災害ボランティアセンターは、社協、NPO、自治体等方法で設置されるが、設置に関して各機関との協力や連携の状況は。

答

災害ボランティアセンターは、町の要請により当別町社会福祉協議会が設置し、町、北海道災害ボランティアセンター、日赤奉仕団などの協力・連携の下で運営する体制となっている。

ここが
聞きたい

受け入れ訓練の必要性

問

過去、受け入れ態勢の不備により、何もせず帰るボランティアが課題となった。現在はニーズに合った運用がされているが、避難所設置訓練と同様に災害ボランティア受け入れ訓練も必要では。

答

当別町社会福祉協議会で、胆振東部地震などで災害ボランティアセンターの運営経験を持つ職員が中心となって、令和6年度から訓練を実施する予定である。

ここが
聞きたい

SSW定着の方策

問

会計年度任用職員で週3日勤務では、SSWの職責を全うするのは困難。待遇も十分ではない。正職員採用や会計年度任用職員だとしても常勤並みの勤務日数とするなど検討しては。

答

有能なSSWが根付くには、それなりの待遇が必要。令和6年度予算では週4日勤務としたが、待遇面に関して町長部局と町教委で相談した中で、より良い人材を見つけていきたい。

※1 SSW…スクールソーシャルワーカーの略。児童生徒を環境面からサポートする社会福祉専門職。



一般質問

よしかた ゆきお
芳形 幸夫 議員

質問の
ねらい

当別町の介護の「みらい」は

社会福祉法人当別長生会への運営費補助金を含む補正予算が5月臨時会で可決となったが、町民へ詳しい周知や説明が必要ではないか。新たな支援要請があった場合、どのように対応するのか。新たな事業計画

に基づいた介護事業の展望について町の見解を質した。また、北海道は令和12年度をめどに「保険料水準の統一」を目指すとのことだが、当別町民にとってどのような影響があるのか質した。



動画はこちら

ここが
聞きたい

町民に対する説明が必要

問 当別長生会への運営費補助金について、経緯経過は理解できるが、民間介護事業者への支援と認識している。あくまで民間企業への支援であるため、町民に対する説明が必要ではないか。

答 臨時会で議決をいただいたこと、町民から問い合わせがないことから、理解を得たものと認識。改めて説明等を行う予定はない。今後、問い合わせがあれば、丁寧に説明をさせていただく。

ここが
聞きたい

新たな支援要請への対応は

問 町は、町内の介護施設・医療機関から、これまでも支援要請を受けているが、今後も同様の支援要請を受けた際は、どのように対応するのか。

答 養護老人ホームの収支不足について、運営を移譲した町にも一定の責任があるものとして支援を行った特別な処置であり、他の事業者に対して、同様の補助を行う考えはない。

ここが
聞きたい

当別町の介護事業の展望は

問 介護事業者の倒産が急増していると報道されており、町内でもデイサービスの撤退等が続いていた。町は第9期介護保険事業計画を示したが、今後の介護事業についてどのように考えているか。

答 介護事業所の休廃止が生じないよう対策が必要。5月には町内事業所と人材確保等に関して意見交換を行った。今後も意見交換を継続し、計画の基本目標の達成に向け、適切に対応していく。



当別町高齢者保健福祉計画
当別町介護保険事業計画

第9期（令和6年度～令和8年度）



第9期 当別町高齢者保健福祉計画・当別町介護保険事業計画



詳細はこちら

ここが
聞きたい

統一の動きからの離脱は

問 道は国民健康保険料水準の統一を目指しているが、低所得者の生活を圧迫する問題がある。保険料は自治体で決めるため、統一の動きからの離脱も可能であるが、その検討は行ったのか。

答 北海道と道内市町村が協議の上策定した運営方針の中で、保険料水準の統一を目指すとなっていることから、町独自の判断で離脱することを検討したことはない。

ここが
聞きたい

町のメリットとデメリット

問 北海道で保険料水準の統一が進められることで、当別町にはどのようなメリット、デメリットが生じるのか。

答 メリットは、持続可能な医療保険制度が担保さ

れることで、町の国保財政運営が安定すること。デメリットは保険税率の上昇が見込まれること。デメリットに対しては、必要に応じて国保財政運営基金の活用など、被保険者の急激な負担増にならないよう配慮していく。

「ページの読みやすさ」について、アンケートにご協力ください。





動画はこちら

一般質問

さとう たつ 議員 佐藤 立

質問の
ねらい

29人学級をなぜ実施しないのか

平成30年に町教委が議決した「当別町一体型義務教育学校基本構想」に掲載されている「学級編制における当別町独自基準」では、小学校1、2年生は1学級最大29人としている。しかし、この独自基準は適用さ

れず、令和5年度の西当別小学校1年生、令和6年度の西当別小学校1、2年生は、この基準によれば2学級となるべきところ、1学級編制となっている。独自基準による学級編制が行われなかった経緯を問う。

ここが
聞きたい

独自基準は存在するのか

問

一体型義務教育学校基本構想に掲載されている「学級編制における当別町独自基準」では2学級とすべき学年が、実際には1学級で編制されている。この独自基準は存在するのか。

答

一体型義務教育学校基本構想を町教委で決定した以降、この基準を各種計画や規則等に独自基準として定めたことはなく、現在の学級編制は道の基準に基づいて行っている。

ここが
聞きたい

なぜ手続きしていないのか

問

平成30年8月の町教委定例会で、独自基準が書き込まれた基本構想が議決されている。その議決に基づいて、教育長並びに教育委員会事務局は事務をしなければならないのではないのか。

答

令和2年に町教委で決定した教育基本計画では、町独自の人的配置を積極的に進めるとしており、この時点で独自基準の設定を行う必要がなくなったと解釈し、事務手続きが行われなかった。

ここが
聞きたい

基準変更の決定はあるのか

問

令和3年度の教育行政執行方針と教育予算編成の概要でも、独自基準について言及されている。学級編制における当別町独自基準を変更する決定は行われているのか。

答

教育基本計画をもって独自基準設定から学びを支える人的支援ヘシフトしたと考えていたが、今回の指摘を受け、独自基準設定の可否について、改めて方向性を示す必要があると考えている。

ここが
聞きたい

再検討の進め方は

問

基本構想の作成にあたって、当時の教育長や町教委は小学校1、2年生の少人数学級の必要性について力説していた。それを変更するならば、相応の説明が必要となる。基本構想に立ち返るとい

うことは、今の基本構想に書いてあることがベースになると理解して良いのか。

答

それで結構である。

ここが
聞きたい

令和7年度からの実施は

問

令和7年度から、独自基準による学級編制を実施する予定はあるか。

答

まずは、この独自基準の可否について、改めて町教委で協議した上で判断する。



当別町立西当別小学校

【その他の主な質問項目】

公共施設総合管理計画の見直し など

「ページの読みやすさ」について、アンケートにご協力ください。



一般質問

さくらのりえ
櫻井 紀栄 議員

質問の
ねらい

デジタル推進で便利な暮らしを

日々の暮らしの中で利用されることの多いデジタルツールやホームページ等について改善を図っていくことが、住民にとって利便性向上を実感しやすく、さらに地域の DX 推進にもつながると考える。特に、町

のホームページは、魅力発信の重要なツールであることから、より情報収集がしやすくなるように、暮らしや子育てに必要な情報は一元化して専用サイトとする必要があると考える。



動画はこちら

ここが
聞きたい

おたよりの WEB 配信を

問

便利で安全な情報発信のため、とうべつ学園の HP に掲載する情報も、各学校が利用しているあんしんメールを用いて、プッシュ型で情報発信してはどうか。

答

現在、各学校では無料の緊急支援システムにより、プッシュ型の情報発信を行っている。これに関して保護者から各学校へ要望等はないようだが、議会で提案があった旨は学校へお伝えする。

ここが
聞きたい

ツールから幼保小中連携を

問

各学校のツールはフリーソフトゆえに緊急時に使えないリスクが高い。町内の認定こども園が利用する有料ツール「れんらくアプリ」に移行できれば、改善の相談もでき、就学前後で同じものが使

えるなど安心感がある。幼保小中で共通のツールを導入しては。

答

さまざまな情報発信ツールがある中から、特定事業者のツールの導入可否については、答弁を控える。



当別町 HP フロントページ

ここが
聞きたい

子育て専用サイトの構築を

問

町 HP はリニューアルして見やすくなったが、情報の探しにくさが残っている。情報収集のハードルを下げるため、暮らしや子育てに関する情報を一元化した専用サイトが必要では。

答

町 HP は情報が多岐にわたり、必要な情報を探し出すのに時間がかかることもあるが、移住情報などは特設ページを設けて情報を見やすく発信するよう努めており、今後も研究を深めていく。

ここが
聞きたい

各種申込をオンラインで

問

公共施設利用、健康診断、産後ケアなど、町が行う事業には利用申し込みを伴うものが数多くあるが、それらの手続きをオンラインで行う仕組みづくりについて、どのように考えているか。

答

令和6年度一般会計予算に、デジタル田園都市国家構想交付金を活用した電子申請導入事業委託費を計上し、現在、電子申請システムや施設予約システムの導入に向けて事務を進めている。

ここが
聞きたい

トップページで魅力発信を

問

町 HP は町内外に魅力を伝えることのできる大変重要なツール。一目見て惹かれるようなトップページにして、当別町の魅力を強く発信しては。

答

町としても魅力発信に力を入れているところ。新たなページを作るために必要な事項を整理して、掲載内容の充実や見せ方の工夫など、さらに研究を深めていきたいと考えている。

「ページの読みやすさ」について、アンケートにご協力ください。





一般質問

やまざき こうじ
山崎 公司 議員

質問の
ねらい

町内の外国人の状況と関連施策

①町内に在住する外国人が増加傾向であるが、外国人住民を取り巻く環境はどうなっているか。外国人住民との共生社会を導くための環境づくりを体系的・計画的に進めていく必要があるのではないかと。②北海道

医療大学移転による影響もあり、当別町が消滅可能性自治体と報道された。この状況から脱するために、札幌に近いロイズタウン駅周辺の開発に町一丸となって取り組む必要があるのではないかと。

外国人登録状況と窓口対応

問 令和6年5月1日現在の外国人登録状況は10年前に比べどうなっているか。また、窓口はどのように対応しているか。

答 10年前の平成26年同月比で、人口は193人

増の221人、国籍は10か国増の26か国となっている。窓口には日本語が分かる家族や知人が共に来る人が多いため、その方を介するか、外国語翻訳アプリを活用して意思疎通を図っている。

災害時の外国人対応は

問 災害時、外国人に対してどのように避難伝達を行うのか。また、保存食のアレルギーマッチなどには行われているか。

答 町のHPや各種SNSは既に多言語に対応。ま

た、必要に応じて翻訳アプリで情報発信を行う準備もしている。また、町の備蓄食品全体ではないが、アルファ米はアレルギーに対応している。加えてハラール認証を受けた製品も計画的に準備している。

外国籍児童生徒と家庭の支援

問 町内小中学校には、外国籍児童生徒はどれくらいいるか。児童生徒や家庭の教育支援はどのように行っているか。

答 とうべつ学園に22名が在籍している。日本語

指導加配教員を増やすなどして指導体制を整えている状況。家庭に対しては、保護者も日本語が話せない人が大半であるため、話せる親族を介したり、おたよりを一部翻訳するなどの対応を取っている。

西当別地区に公共施設は

問 地元住民の間で、ロイズタウン駅周辺や太美地区に、役場庁舎等の公共施設や地域包括支援センターをという声が高まっているが、検討する余地はないか。

答 令和6年度に庁舎整備の方向性を整理するが、本町地区に置く考えは変わっていない。地域包括支援センターは、西当別支所のリモート相談により、その機能を有するものと判断している。

自動運転バス実証運行

問 自動運転バス実証運行は、にぎわい創出にどのように貢献しているのか。また、導入はどのように計画しているのか。

答 令和5年度は約2,500人が乗車し、にぎわい

創出に一定の効果があったと報告した。令和6年度も沢山の乗車があると期待している。運転手不足という課題解決に有効と考えるため、今後も公共交通活性化プロジェクトの一環として検証を進めていく。



令和5年の自動運転バス実証運行の様子



総務文教 産業厚生 認定こども園新園舎、西当別支所、当別EZOCAについて視察研修
 常任委員会 常任委員会 6/26 町内所管事務調査

「認定こども園おとぎのくに新園舎」、「西当別支所」、「当別EZOCAの導入」について、2つの常任委員会合同で視察研修を行いました。新園舎や西当別支所が新設に至った経緯経過、施設概要、特徴や新しい機能、当別EZOCAの機能やメリットなどについて、担当課及び運営法人から説明を受けました。

おとぎのくに



外 観



ホール



デン※1

西当別支所



当別EZOCA説明



リモート相談窓口



手数料の支払いの様子

議員研修

気候変動がもたらす影響と市町村の重要性

7/2 北海道町村議会議長会 議員研修会

気象予報士 森 朗 氏から「札幌が東京より暑くなる！？～加速する気候変動～」、元衆議院議長 大島 理森 氏から「人口減少と市町村の重要性・民主主義について自省を含めての所管」を演題として講演が行われました。



札幌コンベンションセンターにて

※1 デン…小部屋やちょっとしたスペースを指す。英語で「ほら穴」「隠れ家」などの意味。



9月定例会のご案内

【予定】

9月3日（火）～13日（金）

【内容】

補正予算審議、一般質問など

※本会議や委員会の傍聴が可能です。

議会インターネット中継

本会議と常任委員会のライブ中継や録画配信をインターネットにより配信しています。詳しくは、ホームページをご覧ください。



※ 決定次第ホームページへ掲載します。

各質疑の動画が見られます

各質疑の左上に、その質疑シーンが見られる二次元バーコードを載せました。検索せずに見られます。ご利用ください。

【注意】

各質疑左上の二次元バーコードのリンク先は、当議会のホームページではありません。アクセス等により何らかの損害等が生じて当議会は一切責任を負いませんので、ご注意ください。詳しくは、当議会ホームページ「議会中継」－「注意（免責）事項」をご確認ください。

ご意見・ご感想をお寄せください

議会だよりの編集について、ご意見・ご感想がありましたら、下記連絡先へご連絡ください。今後の参考とさせていただきます。

【議会事務局】

〒061-0292 石狩郡当別町白樺町 58 番地 9
TEL 0133-23-3247 FAX 0133-23-4474
E-mail gikai@town.tobetsu.hokkaido.jp

～ WEB アンケートも実施中～

読者 WEB アンケートを実施しています。各ページを評価するだけの簡単なものです。各ページの二次元バーコードから回答できます。今後の参考としますので、ご協力よろしくお願いします。



アンケートはこちら

※ 北海道電子自治体共同システムを利用しています。

令和6年第1回臨時会

日程：5月14日

◎：全員賛成 ○：賛成多数 ×：反対多数

結果

掲載ページ

傍聴 8名 議会中継視聴回数 702回（7/18 現在）

【専決処分】

令和5年度当別町一般会計補正予算（第6号）

地方交付税の確定等により、増額補正した専決処分の承認を求めるもの

◎

—

当別町部設置条例の一部改正

部の分掌事務を改めるため、当別町部設置条例を一部改正した専決処分の承認を求めるもの

◎

—

当別町税条例の一部改正

地方税法等の一部を改正する法律が、令和6年3月30日に公布されたことに伴い、当別町税条例を一部改正した専決処分の承認を求めるもの

◎

—

当別町都市計画税条例の一部改正

地方税法等の一部を改正する法律が、令和6年3月30日に公布されたことに伴い、当別町都市計画税条例を一部改正した専決処分の承認を求めるもの

◎

—

【補正予算】

令和6年度一般会計補正予算（第1号）

3億 2,008 万円を増額し、総額を128億 7,063 万円とするもの

○

p.2
p.3

令和6年度介護サービス事業特別会計補正予算（第1号）

3,843万円を増額し、総額を1億522万円とするもの

◎

—

令和6年第2回定例会

日程：6月14日～21日

◎：全員賛成 ○：賛成多数 ×：反対多数

結果

掲載ページ

傍聴 9名 議会中継視聴回数 816 回（7/18 現在）

【行政報告】※行政報告のため質疑や採決は行われません。

北海道医療大学の当別キャンパス移転問題について

—

—

情報公開制度の実施状況について

—

—

【議員提案】

ゼロカーボン北海道の実現に資する森林・林業・木材産業施策の充実・強化を求める意見書

◎

—

【報告】

令和5年度一般会計繰越明許費繰越計算書について

議決を経た繰越明許費に係る繰越額及び財源内訳について、地方自治法施行令の規程により報告するもの

◎

—

【人事案件】

固定資産評価員の選任について

地方税法に規定する固定資産評価員に、総務部税務課長の職にある者を選任するため、議会の同意を得ようとするもの

◎

—

農業委員会委員の任命について

滝本 弘氏の辞任に伴い、新たに藤田 靖氏を任命するため、議会の同意を得ようとするもの

◎

—

【補正予算】

令和6年度一般会計補正予算（第2号）

5,652万円を増額し、総額を129億2,715万円とするもの

◎

p.4

【条例】

当別町職員の給与に関する条例の一部改正

組織改編に伴う条例の一部改正

◎

—

当別町子ども医療費の助成に関する条例の一部改正

医療費の助成対象者を改めるための条例の一部改正

◎

p.4

当別町指定介護予防支援等の事業の人員及び運営等の基準等に関する条例及び当別町地域包括支援センターの職員及び運営の基準に関する条例の一部改正
介護保険法施行規則の一部改正に伴う条例の一部改正

◎

—



【条 例】		
当別町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正 家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準の一部改正に伴う条例の一部改正	◎	—
【契 約】		
阿蘇公園施設更新工事請負契約について 議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例の規定により、議会の議決を得ようとするもの	◎	p.3
東町団地解体工事請負契約について 議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例の規定により、議会の議決を得ようとするもの	◎	—
【請願・陳情】		
《令和6年第2回定例会（6月）総務文教常任委員会へ付託》 「2025年度地方財政の充実・強化に関する意見書」の採択を求める陳情について 〔提出者〕自治労北海道札幌地方本部 執行委員長 太田 淳一 他1団体 ※地方財源の確保・充実に図ること等を求めるもの	採 択	—
《令和6年第1回定例会（3月）産業厚生常任委員会へ付託》 食料自給率向上を政府の法的義務とすることを求める意見書の採択を求める請願 〔提出者〕当別町農民同盟 委員長 堀 梅治 他4団体 〔紹介者〕当別町議会 議員 芳形 幸夫 ※食料自給率向上を政府の法的義務とすることを求めるもの	不 採 択	p.13 討論①
《令和6年第1回定例会（3月）産業厚生常任委員会へ付託》 物価上昇に見合う老齢基礎年金等の引き上げを求める請願 〔提出者〕全日本年金者組合北海道本部 委員長 平川 敏雄 他1団体 〔紹介者〕当別町議会 議員 芳形 幸夫 ※物価上昇に見合った老齢基礎年金等の引き上げを求めるもの	不 採 択	p.13 討論②
《令和6年第2回定例会（6月）総務文教常任委員会へ付託》 「核兵器禁止条約締約国会議」へのオブザーバー参加を求める請願書 〔提出者〕当別町農民同盟 委員長 岸本 辰彦 他4団体 〔紹介者〕当別町議会 議員 芳形 幸夫 ※核兵器禁止条約締約国会議へのオブザーバー参加を求めるもの	継 続 審 査	—
《令和6年第2回定例会（6月）産業厚生常任委員会へ付託》 政府の責任で医療・介護施設への支援を拡充しすべてのケア労働者の賃上げや人員増を求める陳情書 〔提出者〕北海道医療介護福祉労働組合連合会 執行委員長 吉田 岳彦 他1団体 ※医療従事者・介護職員等の配置基準の見直し等を求めるもの	継 続 審 査	—
《令和6年第2回定例会（6月）産業厚生常任委員会へ付託》 「若者が地元で働き暮らせるよう、全国一律最低賃金制度の創設を求める意見書」の提出を求める陳情 〔提出者〕札幌地区労働組合総連合 議長 木村 俊二 ※全国一律最低賃金制度の創設等を求めるもの	継 続 審 査	—
《令和6年第2回定例会（6月）産業厚生常任委員会へ付託》 女性差別撤廃条約選択議定書のすみやかな批准を求める意見書の日本政府への提出についての陳情 〔提出者〕新日本婦人の会 当別支部 代表者 佐藤 美智子 ※国会・政府に「女性差別撤廃条約選択議定書の速やかな批准を求める意見書」の提出を求めるもの	継 続 審 査	—
《令和6年第2回定例会（6月）産業厚生常任委員会へ付託》 選択的夫婦別姓制度導入の国会審議を求める意見書の提出についての陳情 〔提出者〕新日本婦人の会 当別支部 代表者 佐藤 美智子 ※選択的夫婦別姓制度導入のための法令改正について国会審議を求めるもの	継 続 審 査	—

討論 ①

食料自給率向上を政府の法的義務とすることを求める意見書の採択を求める請願

採択すべき 芳形議員



国が連携して行うべき

改正食料・農業・農村基本法では農業者等が取り組むとの表現。国が連携して行うべき。

不採択すべき 稲村議員



さまざまな課題解決で向上を改正基本法は可決、成立済み。法的義務とするより、さまざまな課題解決で向上が図られる。

【賛否が分かれた採決の公表】

角田	海野	芳形	櫻井	佐々木	佐藤	西村	五十嵐	山崎	秋場	山田	古谷	島田	稲村
不	不	採	採	不	不	不	不	不	不	不	不	不	不

※議長は議事進行を行うため賛否表明はしません。
※「採」は採択すべき。「不」は不採択すべき。

討論 ②

物価上昇に見合う老齢基礎年金等の引き上げを求める請願

採択すべき 芳形議員



国民年金で生活はできない

実質的な年金減額改定の中、消費税や医療費等の負担が増え、物価も高騰。改善が急務である。

不採択すべき 島田議員



低所得者支援も行われている

単なる引き上げは保険料上昇につながる。低所得者支援もあるため、現行の年金制度は妥当。

【賛否が分かれた採決の公表】

角田	海野	芳形	櫻井	佐々木	佐藤	西村	五十嵐	山崎	秋場	山田	古谷	島田	稲村
不	不	採	採	不	不	不	不	不	不	不	不	不	不

※議長は議事進行を行うため賛否表明はしません。
※「採」は採択すべき。「不」は不採択すべき。

「ページの読みやすさ」について、アンケートにご協力ください。



議会のうごき（令和6年5月～7月）

5月 8日 議員協議会
14日 総務文教常任委員会 産業厚生常任委員会
議会運営委員会 議員協議会 第1回臨時会
16日 茨城県水戸市議会会派行政視察来庁
22日 長野県須坂市議会行政視察来庁
29日 新潟県見附市議会行政視察来庁
30日 産業厚生常任委員会
31日 会派代表者会議
6月 7日 議会運営委員会
14日 議会運営委員会 議員協議会 第2回定例会
17日 総務文教常任委員会
18日 産業厚生常任委員会
19日 第2回定例会
20日 第2回定例会 総務文教常任委員会

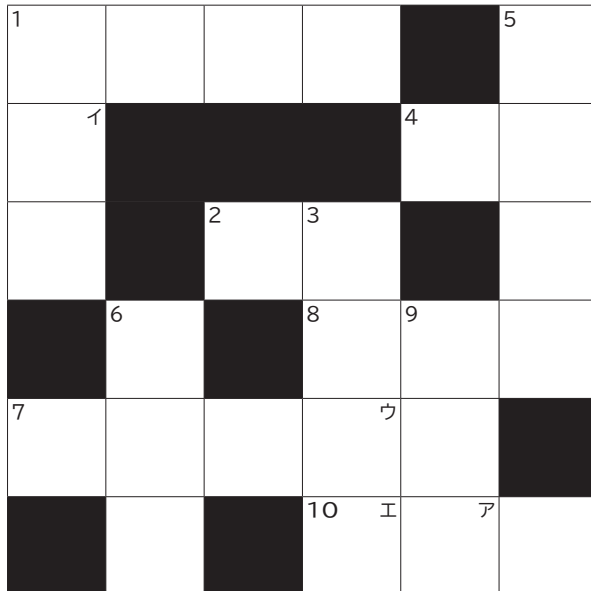
6月20日 産業厚生常任委員会
21日 議会運営委員会 議員協議会 第2回定例会
議員協議会 議会広報特別委員会
26日 総務文教・産業厚生常任委員会合同町内所管事務調査
議会広報特別委員会
7月 1日 大阪府岸和田市議会会派行政視察来庁
2日 北海道町村議会議長会議員研修会
3日 中富良野町議会行政視察来庁
5日 議会広報特別委員会
9日 新潟県五泉市議会行政視察来庁
10日 埼玉県北本市議会会派行政視察来庁
11日 東京都国立市議会会派行政視察来庁
12日 議会広報特別委員会

クロスワードに挑戦しませんか？

クロスワードに挑戦しませんか？タテのカギ、ヨコのカギをヒントにマスに文字を埋めて【キーワード】を導き出しましょう。右の二次元バーコードから、紙面アンケートにご回答いただくと、【キーワード】の答え合わせができます。紙面アンケートは、より良い紙面作成の参考とさせていただきますので、ぜひご協力をお願いします。



アンケートはこちら



～タテのカギ～

- 1 以前所属していた団体
- 3 手品を英語で言うとき
- 5 現代日本経済の父。新一万円札のモデル。
- 6 武家が担った政権の通称
- 9 「九十九」さて、何と読む？

～ヨコのカギ～

- 1 2024年オリンピック開催国
- 2 日本は海に囲まれた「〇〇国」
- 4 株式会社が発行する有価証券
- 7 技術を英語で言うとき
- 8 真実の話のこと
- 10 どんよりとした「〇〇〇空」

【キーワード】

ア	イ	ウ	エ
---	---	---	---

編集後記

清々しい初夏のアカシアの花が咲く中、6月定例会が開催され、子ども医療費助成の対象拡大や阿蘇公園更新工事などに関する予算案が可決されました。未来ある子どもや保護者にとって喜ばしいことだと感じています。一般質問でも、子どもの教育環境や権利のことを中心に活発な議論がされていました。ま

た、今回は特集として、5月臨時会で議論された、社会福祉法人の運営費補助金についても掲載しています。サツドラ当別太美店内に開設された西当別支所や認定こども園おとぎのくにの新園舎も視察しました。町民の生活の質向上に役立つものと期待しています。

議会広報特別委員会委員 海野 学

議会広報特別委員会

委員長 佐藤 立 / 副委員長 佐々木 常子 / 委員 櫻井 紀栄
委員 芳形 幸夫 / 委員 海野 学 / 委員 角田 広佑